

物事は「難しく考えるから難くなる」とよくいわれるが、その通りだ。優れた研究者は難しく考えない。それができる理由は、問題の本質を見抜けるからだ。理解や説明は、本質であればあるほど末梢(まっしよ)のそれより、ずっと易しい。

要素洗い出し順位付け

本質を見抜くには

して本質をズバリと突いた明確な解釈を下す。易しいことをわざと難しく言っているのではないかと、疑われるような説明をする学者との雲泥の差を実感した次第だ。でも、一流といわれる大学にも、難しく説明することと学問らしくなると思っ

平成 27年 7月 31日

われわれは毎日あれこれ考えて行動しているが、そこでは判断の良しあしが結果の成否を決める。良い判断に欠か

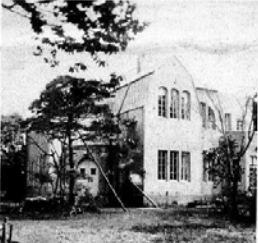
根底に隠れた本質見抜く

判断に欠かせぬ洞察力

「重要な本質」にはいろいろあるが、いかなれば原理・法則だ。ニュートンがリンゴの落ちるのを見て万有引力を洞察した話は、真偽のほどは知らないが象徴的だ。質量と

平成 27年 8月 7日

今では鉄筋コンクリート製の個人住宅は珍しくないが、日本で初めて建てられたのは



鉄筋コンクリ住宅1号 大震災教訓、耐震耐火貫く

和田小六郎(内田祥三関係資料、東京都公文書館所蔵)

私の父の和田小六は東京帝国大学航空研究所の教授、日本の航空工学創始者のひとりだ。木戸孝允を嗣(ついで)侯爵家の次男として経済的余裕もあったので、「鉄筋コンクリート住宅実験第1号」に挑戦したと想像する。

平成 27年 8月 18日